

西予市野村町の世代をつなぐ施設園芸DX

日時 ▶ 令和5年6月19日(月) 14:00~16:00

参加費 ▶ 無料 定員 ▶ 現地 30名 オンライン 100名

場所 ▶ 野村地域づくり活動センター3階大ホール
愛媛県西予市野村町野村12号619番地1


 実地開催
 オンライン配信
 対応可能

開催趣旨

若者が魅力を感じるスマート農業の地域実装が求められるなか、栽培面積が20~50aの小規模施設園芸においても、環境制御・栽培管理技術の向上を目的として、生育状態の見える化を含んだデジタルトランスフォーメーション(DX)が推進され、生産規模に最適化された生育データ活用方法も成熟しつつある。さらに、地方創生や地域活性化の基盤技術として地域の施設園芸栽培ノウハウをデジタル化して新規就農を支援する取り組みも活発化している。本セミナーでは、西予市野村町における高精度トマト生産者グループにおける最新の施設園芸DXについて紹介する。

次第

総合司会：藤内 直道(愛媛大学大学院農学研究科 助教)

第1部 ▶ 講演会

- 14:00 開会の挨拶 高岡司(愛媛県企画振興部デジタル戦略局スマート行政推進課主幹)
- 14:05 「プロジェクト全体の概略：植物生体情報DXによる栽培ノウハウの継承」
北川寛人(PLANT DATA(株) 代表取締役社長)
- 14:25 「地域金融機関が支援するデジタル化された農業生産の社会的価値」
永原久嗣(株伊予銀行地域創生部一次産業事業化推進室課長代理)
- 14:35 「生産現場での利用が進む生体情報計測技術」
高山弘太郎(愛媛大学大学院農学研究科 教授、豊橋技術科学大学大学院工学研究科 教授)
藤内直道(愛媛大学大学院農学研究科 助教)

第2部 ▶ 講演会

※第2部のオンライン配信はございません。

- 15:10 技術実装ハウスの見学・説明会 熊谷琢磨(有限会社フローラルクマガイ代表)
宮内晃(すすなり農園)
- 16:00 終了

主催

植物生体情報DXによる栽培ノウハウの継承コンソーシアム
(愛媛県デジタル実装加速化プロジェクト「トライアングルエヒメ」
採択事業)、愛媛大学植物工場研究センター



TRY ANGLE EHIME

後援

日本生物環境工学会 東海・四国支部、日本生物環境工学会生物生体計測部会、「知」の集積と活用場の場産学官連携協議会 スマート・メガスケール植物工場研究開発プラットフォーム、CIGR(国際農業工学会) Plant factory and intelligent greenhouse WG、愛媛大学社会連携推進機構研究協力会スマート農業研究部会

事務局

愛媛大学植物工場研究センター

問い合わせ先

愛媛大学植物工場研究センター(担当：田村・間宮)
☎ 089-946-9901 E-mail: zinzai@agr.ehime-u.ac.jp

申込みフォームURL

<https://receipt.agr.ehime-u.ac.jp/~sympo1/mpmailec/form.cgi>

申込締切 令和5年6月15日(木)正午

参加申込フォームよりお申し込みください。

